



グラビア印刷用シリンダー

<p><b>主な事業内容</b></p> <p>グラビア印刷用シリンダーの 専業メーカー</p>	<p><b>主な取引先(納入先)</b></p> <p>グラビア印刷会社、 グラビア製版会社など</p>	<p><b>主な製品</b></p> <p>グラビア印刷用シリンダー およびそのリサイクル品</p>
------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------

**社長あいさつ**



代表取締役社長  
**森脇 拓也さん**

私たちの経営理念は①常に技術の向上を追求する②関わる全ての企業・人とともに成長、発展していく③強い信念を持ち、何事もやり通す——です。この理念を胸に、労働環境の改善や働き方改革を進め、国内トップのシェアを守りながら、従業員の雇用も守っていきます。

**主な保有設備**

- シリンダー収納用自動ラック 約1万本収納 トヨタL&F製 2機
- CNC旋盤(加工精度 1/100mm) ヤマザキマザック製 14台
- 自動溶接機(φ400×1,800L) パナソニック製 2台
- 円筒研磨機(φ400×1,500L) ミラック製 4台
- バンドソー(最大 φ450mmまで切断可能) アマダ製 3台

大阪 03

住 所 / 〒571-0015  
門真市  
三ツ島6-22-1

T E L / 072-887-3232

F A X / 072-887-3277

創 業 / 昭和45年6月

設 立 / 昭和45年6月

資本金 / 2,000万円

従業員 / 32名



<http://www.moriwaki-i.co.jp/>

納期相談  
コスト相談  
オンライン見積  
メイドインジャパン

# 森脇鉄工株式会社

## グラビア印刷用シリンダーで 業界トップの地位を確立

**業務内容**  
印刷機械の最重要部品を  
旋盤加工技術で支える

森脇鉄工は、グラビア印刷用シリンダー(鉄芯)の専業メーカーとして長年、旋盤加工技術を蓄積してきた。シリンダーはグラビア印刷の版として、印刷データをフィルムに転写する印刷機械の最重要部品だ。グラビア印刷は主に、食品などの包装に使うフィルム印刷に用いられる。同社はシリンダーの国内シェアのうち、およそ10%を握り、業界トップの地位にある。森脇拓也社長の祖父が、勤めていた印刷機械メーカーから独立する形で昭和45年に起業し、創業した。創業当初は送風機などを主に製造していたが、近隣企業の依頼をきっかけにシリンダーを手がけるようになった。

**強み**  
加工とリサイクルで  
特徴ある製品を提供

同社は、製造品目をグラビア印刷用シリンダーに絞り、機械のNC(数値制御)化を進めるなど、品質と精度の向上に努めてきた。現在はCNC(コンピュータ数値制御)旋盤をはじめ、30台以上の機械を保有。生産量、機械保有台数ともに業界トップだ。

同社製品の特徴は、シリンダーの内面に、劣化しないよう独自のコーティングを施している点である。また、シリンダーのリサイクルにも取り組んでいる。不要分を引き取り、管理、必要なサイズに加工したうえで、再び製品として提供するサービスを展開している。こうした強みを背景に、得意先は80社を超える。

**人材確保**  
さらに拡大する需要  
独自制度で人材を確保

森脇社長は「最近では食品だけでなく、医薬品や衛生用品、さらにはベットのフードや、紙コップといった日用品にまで、グラビア印刷が広く用いられるようになってきている」と現在の潮流を語る。今後同社のシリンダーに対する需要は、安定した伸びが期待できる。課題は人材の確保だろう。「重い鉄芯を扱うため、厳しい仕事というイメージがあり、それを払しょくしたい」と森脇社長は展望を述べる。同社には独自のキャリアアップ支援制度があり、社外の研修を積極的に活用、資格取得も推奨している。また、ベトナムの技能実習生を5名採用し、日本人従業員の士気向上につなげる試みも行っている。



工場内風景



本社工場外観